

古謝 げんた

38歳。

未来をつくる即戦力



沖縄県民の皆様、古謝玄太と申します。
那覇市の首里に生まれ、沖縄の歴史と文化の息づかいを感じながら育って参りました。
大学卒業後は総務省に入り、国の中枢で様々な経験を積んできました。岡山県や長崎県に赴任し地方の実情をつぶさに見て回ることもあれば、東日本大震災の復興事業を担当し被災地の産業支援に携わったこともあります。
充実した公務員生活でしたが、学生時代からいつかは故郷の沖縄のために役に立ちたいとの思いを強く持っていました。これまでに得た国・地方での知識や経験、人脈で沖縄のためにもっと貢献できるのではないかと。そう考えるに至り、新たな一歩を踏み出すことを決心しました。
今年には本土復帰50年の節目です。これからの50年は、沖縄が日本をリードする時代となるよう、共に目指していきましょう。

努力のげんた

那覇市首里石嶺町の出身。父は医師で実家は宮古の古謝そば。中学、高校は野球部で5番ファーストとして活躍。化学に興味を持ち、猛勉強で難関の東京大学薬学部に進学しました。

げんたのめざす未来

みんなが笑顔でいられる

沖縄をつくりたい

毎日の出来事を語る子どもたちの笑顔は何ものにも代えがたいものがあります。子どもたち、そして県民の誰もが平和でのびやかに暮らせる沖縄をめざします。

誰もがチャレンジできる

沖縄をつくりたい

格差や貧困の解消、待機児童ゼロ、そして就学や就職への支援に取り組み、沖縄で生まれ育った誰もが活躍できる社会をめざします。

しなやかな経済の

沖縄にしたい

沖縄の経済の特徴と言われた3K(基地・公共事業・観光)に代わる新たな5K(観光、健康、環境、海洋、起業)で社会情勢の変化に左右されないしなやかな経済をめざします。





げんたってどんな人？

沖縄生まれ総務省勤務

東北の被災地や長崎県の離島、現場で汗を流す



笑顔力のげんた

小さな頃から笑顔の絶えない子どもでした。笑顔っていいですね！誰もが笑っていただける社会にすることがめざす政治の一丁目一番地です。



チーム力のげんた

中学・高校では野球部に所属。高校では5番ファーストが定位置でした。チームワークの大切さと最後まであきらめない姿勢を学びました。



現場力のげんた

東日本大震災の発生直後に宮城県のイチゴ農家のもとに駆けつけボランティアで津波による土砂の除去作業にあたる。その後も長崎や沖縄で地域をくまなく歩き回るなど現場主義がモットー！



地元愛力のげんた

東京での学生生活では沖縄出身者同士で集まり語り合ううちに地元愛を強く覚えるように。東大沖縄県人会を設立し初代会長に。学園祭ではエイサーを披露しました。



父親力のげんた

妻との間に3女1男の子たくさん。子どもたちの笑顔がげんたの活力の源です。出向や出張の多い生活を支えたのが妻の亜希子さん。家族ともじっくり話し合っって決める姿勢はげんたが目指す政治の原点。



聞く力のげんた

長崎県に赴任中は観光や文化の振興、そして財政などを担当。長崎県は沖縄と並ぶ離島県です。離島ならではの資源をどう活かすか。島の人々の意見にじっくり耳を傾けながら取り組みました。



政策力のげんた

大学卒業後は総務省に入省。内閣官房で沖縄振興を担当した時には、西普天間住宅跡地の再開発ややんばるの世界自然遺産登録に関わりました。沖縄出身の公務員やビジネスマンらと政策研究会「おもしろ会」を立ち上げたことも。

プロフィール

- 1983年那覇市出身 38歳
- 那覇市立石嶺小学校・石嶺中学校卒業
- 昭和薬科大学附属高校卒業(26期)
- 2006年3月 東京大学薬学部卒 **東大沖縄県人会立ち上げ、初代会長**
- 2008年4月 総務省入省(旧自治系・国家1種・経済職) **57年ぶりの自治省系沖縄出身者**
- 2008年~2009年 岡山県市町村課
- 2010年~2012年 総務省(情報流通振興課、調整課)
- 2013年4月 内閣官房副長官補付 **官邸付の沖縄振興担当として跡地利用などに取り組む**
- 2014年~2018年 **世界遺産を活用した離島振興などに取り組む**
長崎県(観光振興課企画監、国際課長、文化振興課長、財政課長)
- 2019年4月 復興庁参事官補佐 **福島国際教育研究機構拠点構想立ち上げ**
- 2020年4月~ NTTデータ経営研究所 **沖縄のベンチャー企業向け研修事業を企画運営**
資格：薬剤師
家族は妻と三女一男(中学生~5歳)

